

News Release

株式会社山陰合同銀行

〒690-0062 島根県松江市魚町 10
TEL.0852-55-1000
<https://www.gogin.co.jp>

2026 年 4 月 1 日

2026 年度 新入行員に向けた頭取メッセージ

ごうぎんは、本日（2026 年 4 月 1 日）、2026 年度入行式を執り行いました。代表取締役頭取 吉川 浩の新入行員に向けた頭取メッセージをお伝えします。

（メッセージ全文は 2 ページ目以降に掲載しております。）

【入行式の概要】

開催日	2026 年 4 月 1 日（水）		
入行者内訳	総合職	91 名	（昨年度 77 名）
	特別技能職	0 名	（昨年度 2 名）
	合計	91 名	（昨年度 79 名）
主なプログラム	・ 頭取挨拶		
	・ 入行者紹介		
	・ 入行者代表辞令交付	いまづ 光希	（広島西支店）
	・ 入行者代表宣誓	もりやま まい	（本店営業部）

【入行式の様子】



〔会場の様子〕



〔頭取挨拶〕



〔入行者紹介〕

以上

（2 ページ目、頭取メッセージ全文へ続く）

2026年4月1日

2026年度入行式 頭取メッセージ

おはようございます。頭取の吉川です。

新入行員の皆さん、山陰合同銀行へのご入行おめでとうございます。

本日ここに、総勢91名の方々を、新しい仲間として迎えることができ、本当に嬉しく思います。

「ごうぎん」を代表して心から皆さんを歓迎いたします。

皆さんの銀行員としての人生は、今日ここから始まります。今年の入行式は、皆さんを迎えるにあたり、趣向を凝らし、例年とは内容を大きく変えています。

今回、変更に至った理由は2つあります。

1つ目は、たった一度の入行式を皆さんの思い出にしっかり残るものにしたいと考えたことです。

そして、もう1つは、「これからは銀行も変わり続ける必要がある」というメッセージを皆さんにお伝えしたかったためです。

現在、金融業界では「金利のある世界」が戻り、その環境が定着しつつあります。

また、生成AIをはじめとするテクノロジーの進化に伴い、これまで人が行ってきた仕事の多くがテクノロジーの力により代替されるようになり、金融を取り巻く環境は100年に一度の変革期とも言われています。

話は少しそれますが、松江を主な舞台にして半年間放映されました、小泉八雲ことラフカディオ・ハーンと妻のセツさんを取り上げたNHK連続テレビ小説の「ばけばけ」のヒットは、当地の観光産業やサービス業にとって非常に大きな追い風となりました。

「ばけばけ」という印象的なタイトルは、小泉八雲の著書である「怪談」にもちなんでいます。物語の時代背景であり、急速な近代化を遂げた明治期において、前例や慣習に縛られず、自分たちを「化けさせていく」ことの重要性、つまり「変化を恐れない」という意味も込められているそうです。

私たち金融機関も、変化が激しいこの時代の要請にすかさずに対応し、まさしく「化けていく」勇気が必要です。社会人になったばかりで、皆さんが不安を感じるのは当然のことですが、勇気を出して、こうした変化をぜひチャンスだと捉えていただきたいと思います。

今後はテクノロジーの進化によって、人にしかできない、より創造的な仕事で個人のお客様や、企業経営者の方に寄り添うという金融本来の価値に集中できるチャンスとなります。

これは、まさしく当行の経営理念である「地域の夢、お客様の夢をかなえる創造的なベストバンク」につながっていきます。

テクノロジーは、あくまで道具にすぎません。それをいかに活用し、お客様や地域の課題を解決するために何ができるかを考え、具体的に解決策を実践することが皆さんの仕事です。

そのためにも、常に変化を前向きに捉え、学び続ける姿勢を持ち続け、急速に進化していく生成AIに使われるのではなく、しっかりと生成AIを使いこなす側の人材になってください。専門的な知見やスキルを高める努力を忘れずに、銀行とともに大きく成長してほしいと思います。

一方で、こうした変化が求められる状況においても、ごうぎんの行員にとって変わることはない大切なことを2つお話しします。

1つ目は「誠実である」ことです。当行の価値観を定めたGOGIN FIVE VALUESの1番目がこの誠実です。

銀行の存立基盤は信用です。先輩たちが長きに亘って築いてきた信用の上に我々のビジネスは成り立っています。金融のプロとして最も大切なことは、知識やスキル以上に、一人の人間として信頼されることです。お客様に当行と行員それぞれを信頼していただけるからこそ、お客様の大切な資産をお預けいただいたり、真のお悩みをご相談いただいたりすることで、私たちはビジネスができます。

お客様のご期待に応え、信頼していただくために、常に誠実かつ真摯に行動することを、どうか忘れないでください。

2つ目は、「チームや人とのつながりを大切にする」ことです。

これについてもFIVE VALUESの最後5番目にチームごうぎんと掲げています。

本日使用しているスクリーンなどは、先月開催したごうぎんスタートアップフェスというイベントで使用したものの一部です。このイベントは、都市部の有名なスタートアップ企業やベンチャーキャピタルにこの本店にお越しいただき、地元の企業や大学・自治体に加えて行員も参加し、山陰に新しい価値やイノベーションを起こすことを目的に開催しました。

スタートアップ企業やベンチャーキャピタルの方々は、チームや人とのつながりをとても大切にしています。彼らは、一見すると資金を求めているスタートアップと資金を提供するベンチャーキャピタルというドライな関係にも捉えられがちですが、決してそんなことはありません。

新たなビジネスを模索する世界では、強烈な情熱を持った彼らがつながり、化学反応が起きて、変化が激しいこの時代を切り開いていく、強力なエコシステムが出来ています。繰り返しになりますが、彼らは挑戦を続ける中で、人とのつながりやチームをととても大切にしています。

これは、銀行も同じです。当行で最も重要な資産は「人材」です。そして、当行の最大の強みも「人材」です。ただ、いくら素晴らしい人材がたくさんいても、それぞれの向かう方向がバラバラでは、「1+1は2」場合によってはそれ以下にしかありません。当行では、役職員同士が立場や世代を超えて信頼し合い、気軽にコミュニケーションがとれる風通しの良さをとても大切にしてきました。一人ひとりの個性を大切にし、多様性を尊重することで「1+1が3にも4」にもなるような「チームごうぎん」として、組織としても大きな成果を生んできたと考えています。

ぜひ皆さんもチームごうぎんの一員としての責任感と気概を持って、今日からの銀行員人生を一步一步着実に歩んでほしいと思います。

そして、今日ここにいらっしゃる同期の皆さんは、大切な絆で結ばれ、場合によってはたとえ銀行を離れることとなっても、生涯の友として支え合う存在となるでしょう。皆さんの成長への可能性は無限です。自分自身への投資を続け、能力を高め、同期で切磋琢磨し、それぞれが勤務される地域と「ごうぎん」を盛り上げていってください。

最後になりますが、今日まで皆さんを育ててこられたご家族や、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、また、誰からも立派な社会人として認められ、心身ともに健康で豊かな人生を歩んでいかれることを心から願って、私のお祝いの挨拶とさせていただきます。

ご入行、誠におめでとうございます。

以上